

2018 年 6 月吉日

関係各位

青森県下北郡東通村尻労安部洞窟発掘調査のご案内

時下増々ご清祥のこととお慶び申しあげます。平素、私達の調査・研究活動に格別なるご高配賜っております段、厚く御礼申し上げます。

さて、今夏も東通村教育委員会、尻労部落会、日鉄鉱業株式会社ほか関係諸団体のご理解・ご協力のもと、下記の通り尻労安部洞窟の発掘調査を実施させていただく運びとなりました。ご多忙のこととは存じますが、期間中お時間がありましたら、ご来跡の上、ご教示賜りますようお願い申し上げます。

尻労安部洞窟遺跡調査団

記

調査日程 2018 年 7 月 31 日(火)～8 月 11 日(土)

※7/31・8/11 は移動日です。また、悪天候の場合は作業を見合わせ
場合もございますので、ご承知置きください。

調査対象 尻労安部洞窟： 青森県下北郡東通村尻労字安部 39-3

連絡先

調査期間前

慶應義塾大学 文学部 民族学考古学研究室 佐藤孝雄

〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

TEL: 03-5427-1425, E-mail: sato@flet.keio.ac.jp

調査期間中

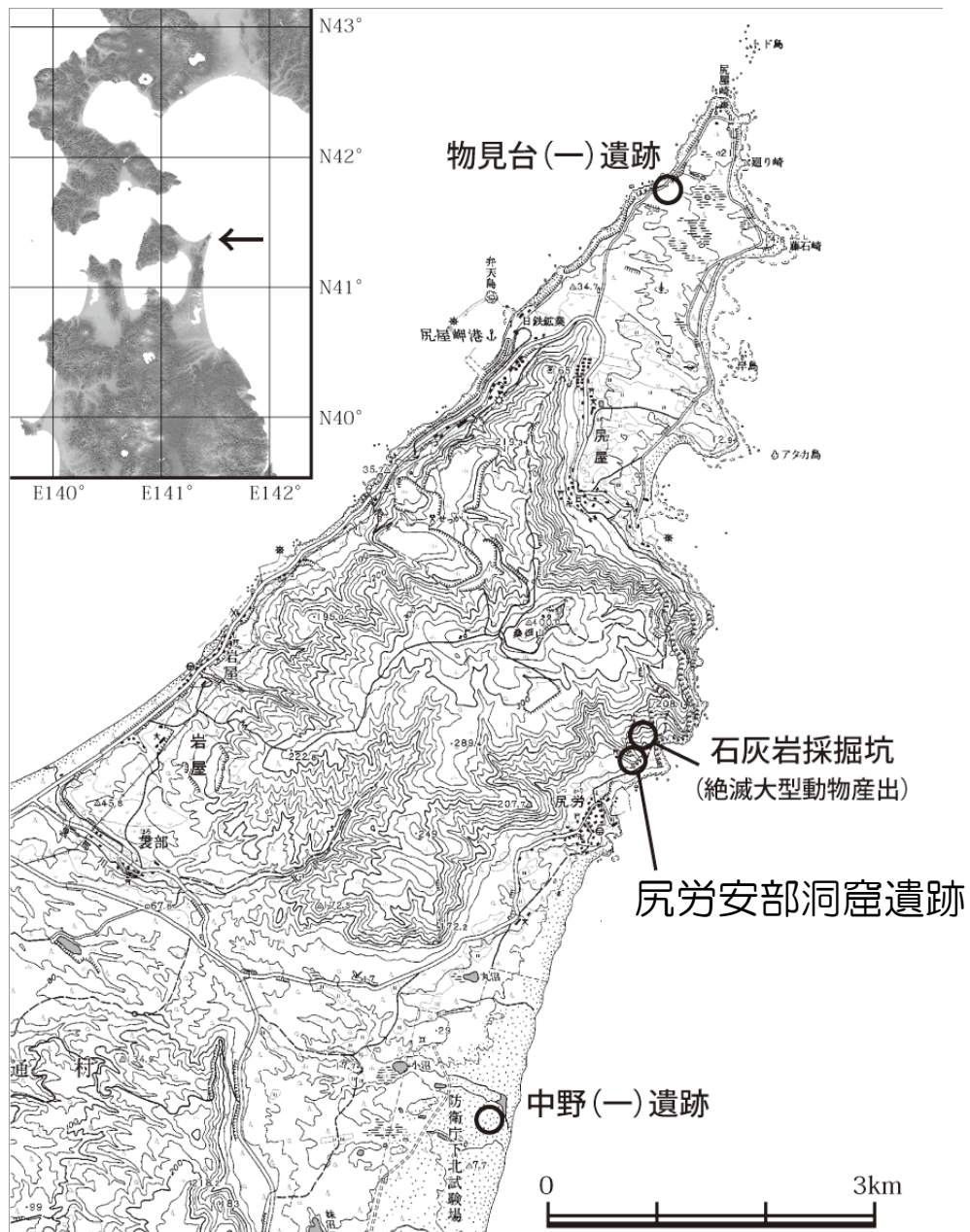
宿舎 プラザホテルむつ

〒035-0061 青森県むつ市下北町 2-46

TEL: 0175-23-7111, URL: <http://www.ph-m.jp>

現場 090 5317 1302(奈良貴史), 090 3338 2675 (佐藤孝雄),

以上



尻労安部洞窟遺跡の位置

尻労安部洞窟遺跡とこれまでの発掘成果

尻労安部洞窟は、日本有数の石灰岩地帯たる下北半島の先端部に位置します。過去14年間の調査により、当洞窟からは既に後期更新世の堆積層から6点の旧石器と多数の動物化石が出土。また、2009年にはナイフ形石器と最小13個体分を数えるノウサギ属の歯が近接する位置に確認されるという画期的な成果も得られました。以来、この洞窟はわが国の旧石器文化研究史上特筆すべき遺跡との評価を受け、国内外の研究者の注目を集めています。

<http://www.flet.keio.ac.jp/~sato/shitsukari/>